

『鯛一郎くんだより』

こいゃあ〜鯛したもんだ!



お頭あいさつ

本気で一年!

日本各地で豪雨!特に九州中国地方では多くの被害が出ていますが、皆様方の所ではいかがですか?被害は出ていませんか?幸い私どもの所は海が近く、雨水はすぐに海に流れ込むので、目立った災害には至ってありません。

海も赤潮になりそうな気配を見せてはありますが、比較的落ち着いた状態を保っております。鯛一郎くんファンの皆さま、ご安心下さいませ。

さてさて、8月、盆月になりました。徳弘水産では、皆様フォローの一環としてモニターを使っての販売を計画しております。スーパーさんの売り場等に置いて頂いて浜の香りをお届けしたいと思っております。

8月は、いくつかの店舗でトライアルして、9月から本格稼働にこぎつけたいと考えています。どうぞ、楽しみにして下さいませ。さ〜、忙しくなるぞ!!ムフフ・・・

7/26 出雲・榎原商店御一行様



鯛二郎クンのイクス 鯛一郎クンの餌やり

榎原商店の営業部長(ご子息)ご一家が、鯛一郎クンと鯛二郎クンを見に寄って下さいました。子供たちにも楽しんでもらおうと思ひ、餌やりと釣りをしてもらいました。

鯛二郎クン(堀田氏)の稚魚(モジャコ)に餌やり...「ちょっと船に酔ったかも...」と言っていた2女も一変に快復!!!

鯛一郎クンの餌やりと釣りです。長男、大ハッスル。一番デカイのを釣り上げたのは長女かな?

友達のパラメータも見学させてもらいました。フグもいてビックリ!長男はすっかり慣れて...子供たちと仲良くなった頃に、お別れでした。

又、来てね~!子供達の成長がとっても楽しみな、小池のおじいちゃんです(^^)U

鯛一郎くん産みの親・名越和法先生



今回は、有限会社エヌ・エヌ・エフの名越和法社長にコメントをいただきました。

私は、食の本当の美味しさを求め始めて30数十年。美味しいと感じる物は、その物を体が求めている証拠だと信念を持っています。

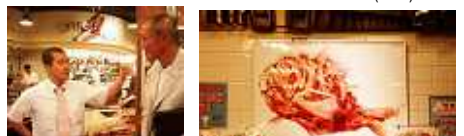
徳弘氏との出会いは15年前。仕事への探究心を持ち、元気あふれる人物と記憶していました。そして、彼の熱意と努力により今日の鯛一郎クンの誕生を見る事が出来たのです。

調理を行う料理人にとって、養殖魚の『鯛』の使用は、苦悩の連続です。料理人は、美味しい料理を出してこそ、高い評価が受けられ、不味い物を出すと自分の評価を下げる事に成ります。美味しい物は何をしても美味しい。素材は調理の命であり基本です。まさしく魚の王道的な意味を持つ鯛一郎クンは、刺身、焼き物、煮物、汁物、漬物、小細工は必要ありません。その物の味で満足出来る料理を、満足出来る美味しさを出す事の出来る魚だと思います。皆様には、良き食の見聞役となって頂き、より良き品の発展を共に進めたいと考えております。今後とも徳弘水産をよろしく願ひ致します。

大阪・スーパー光洋様

『次は〜山田あ〜山田あ〜』なんて車掌の声が聞こえてきそうな阪急線、山田駅。回りを見渡せば高級そうな住宅街。そして、そのまま、ビルの中。一階を入って行くとドーンと魚売り場が...奥田バイヤーに売り場を案内していただきました。なんとキレイなお店でしょう!皆さんの意気込みが伝わって来ます。11月には活魚館を横付けし、特売をやりたいなんて計画をしているようです。

そうそう!皆さん!光洋さんのHPを見て下さい。KOHYOの文字をクリックすると、きれいな女性が出てきて、鯛の形になるんです!かっこいい~!!鯛一郎クンと縁がありますネ(^^)v



(有)宇和島屋様ご紹介



キャラクターのじゃ子ちゃん
今回は、鯛一郎くんだよりvo.13で名前の出ていた、僕の今一番のおススメスポットを紹介しします。

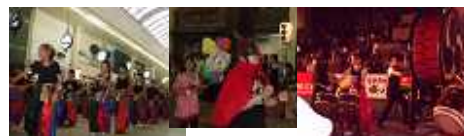
その名も「宇和島屋」。宇和島を背負って立つ...といったネーミングで、ナント!!!無添加じゃこ天を作っています。

社長の名前は三浦清貴(29歳)超が付く程のこだわり男です。「折角商品もこだわっているの、ここまでこだわります!」...と言っていて、見せてくれたのが、電解水の装置。

機器の洗浄に、工場内の清掃に、合成洗剤や化学の物は使いたくないと、アルカリ水・酸性水を上手に洗浄に使っています。だから、とにかくキレイ!油で揚げられるラインもキレイ!工場を視察に来るバイヤーさん達は、ビックリして帰るとか...

そして、なんと、楽天市場・練り製品部門トップ!!!やりますね!宇和島屋で検索すると、すぐに出て来ますので、一度見て下さい(^^)v

左ひれだより



7月22日、『宇和島うしおに祭り』のはじまりです。この日は、普段静かな宇和島もひと時の盛り上がりを見せます。

初日はガイヤカーニバルというイベントがあります。『ガイヤ』というダンスミュージックです。宇崎竜童氏作詞作曲、土居はじめ氏の振り付けです。その振り付けをチームでアレンジして、大音量の流れる商店街を踊り歩きます。ちなみに、自分は先頭でうしおにを担いでいました。さすがにこの時期は暑く、汗がとんでもなかったです。

来年は右ひれを筆頭に従業員一同ガイヤに出るとか出ないとか...。こうして、宇和島の祭りがスタートしました。by左ひれ

宇和島の歴史探訪

宇和島城の歴史を見てみると、もともと家藤監物の居城で、1575西園寺宣久、1585小早川隆景、1587戸田勝隆と替わっていったそうです。1595藤堂高虎が6年かけて再構築し、1608富田信高、1614伊達政宗の長子、秀宗が城主となり宇和島伊達藩の誕生となりました。1844に藩主となった8代・宗城は、越前の松平春嶽・土佐の山内容堂・薩摩の島津斉彬とともに『幕末の四賢侯』として知られています。

宇和島藩と仙台藩は竹に雀の家紋を使っていますが、葉の数、節の数等が異なり、宇和島笹、仙台笹と呼ばれ区別されているそうです。宇和島伊達家には約3万点以上の古文書が伝来しています。宇和島市が分析、整理に当たっていますが、まだ終了していません。宇和島には伊達博物館があり、徳川将軍家からの拝領品や天皇家からの下賜品等が展示されています。又、国指定重要文化財の豊臣秀吉画像もあるのです。そして、お姫様方の婚礼道具も数多くあり当時の栄華が偲べれます。岩屋物語絵巻・源氏物語系図等も展示しています。是非、徳弘水産経由で宇和島観光にお越し下さい。



7/23・花火



さて、祭りの二日目は、花火大会。ドゥ!!ドーン!!「玉屋ー!」なんて、掛声が聞こえて来ます...

宇和島の花火は海の上から上がります。大きな台船を宇和島湾のド真ん中に浮かべて、その上から上げるのです。本船の言徳丸をその近くに着けるので、丁度真上で花火を見れるのです。この船上花火を見に、毎年東京・姫路からお客様が来られます。ドーン!という音で体が震え、腹の奥まで響きます。手にしたグラスも皆置いて、豪快で迫力満点の花火に拍手喝采!!船がゆらゆら揺れて、なんと気持ちいいこと。

今年の新作の一つは、水の中から、花火が水しぶきと一緒に上がりました。来年は見にいらっしやいませ。

右ひれだより

7月24日。宇和島霊大祭最終日は、一番の見せ場の走り込みです。市内を10台前後の神輿が練り歩き、和霊神社の前の川に突入していきます。そして、川の中の天まで届きそうな竹に昇り、竹の先に付いたお札をつかんで祭りは最高潮を迎えます。神輿の周りには、松明が焚かれ、祭りを盛り上げます。そんな楽しそうな祭りの中、わたくしはなぜか警備担当だったので、神輿がスムーズに進むように...川では溺れている人がいないかチェックチェック...とお〜もテンションが上がりました(T_T)

やっぱり祭りは参加するものですね。。by右ひれ

海の様子

7/31 水温22.8 酸素6.24ppm
今月の海はとて穏やかです!ですが、水温が前年度に比べてイマイチ上がって来ませんm(____)m梅雨も本来なら、とくに終っているのに今年はなかなか明けませんでした。もう、水温も上がると思いますが...なんととも言えない状況です!水温が上がれば海水浴の時期になってくるんですが(^^_-)
皆様これからもっと暑くなってきますが、熱中症には気をつけてください。by尾ひれ
写真はベットの箱フグ達